

夏休みラジオ体操

文化育成部長 内山毅重

令和四年度夏休みラジオ体操を七月二十五日より八月十二日まで、土曜日・日曜日と雨天を除く平日の九日間実施しました。会場は市立桜が丘小学校前庭、諏訪神社境内にて。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、例年通りの開催が心配されましたが、①マスクの着用、②集合時の間隔を広くとる、③実施期間の短縮の対策を打ち開催しました。なお、前年取りやめた体操カードの押印については、①より達成感が得られる。②期間中に頑張ったことの証。等前年参加者の声が多数寄せられましたので、要望に答え再開しました。

参加者は、桜が丘会場、諏訪神社会場合わせて、一日平均子供九十名、大人四十名でした。子供の参加は増えてはおりませんが、大人の参加は若干づつではありますが、増えております。

益々の参加期待しております。校内選出六年生中心の体操リーダーの元、NHKラジオ体操の放送に合わせて、第一体操及び第二体操を行いました。

ラジオ体操を通じて、地域の子供たちと大人の親睦を図り、安心安全なまちづくりと規則正しい生活を送り、蔓延中の新感染症にも負けない健康的な体を作る為の一助にもなつたかと思えます。

ラジオ体操最終日に、①体操リーダーには図書券を、②生徒には学用品詰め合わせ、③幼児には幼児向け学用品詰め合わせ、④大人にはティッシュボックスを進呈しました。些少ではありますが、喜んでいただけたら幸いです。

今後のコロナウイルス感染症の状況にもよりますが、来年度も実施する予定をしております。地域の方々、両小学校の職員の方にも一層のご協力をお願いしたいと思います。本年も初日にキックオフの挨拶をいただきました、自治会阿部会長、一丁目浅井ブロック長ありがとうございます。

毎日早朝より参加をして頂いた自治会役員及び担当部員の皆様大変ありがとうございました。



自治会クリーン作戦

環境部長 本間康夫

去る十月二十三日（日）、第二回クリーン作戦を実施いたしました。

今回も、新型コロナウイルス感染症防止策としてマスクの着用、参加者の名前をメモ用紙に記入して提出してもらう等の感染対策をしての実施となりました。

参加者数は江東園、陽光園の職員の方々を含め九十五名の方々より参加をして頂きました。

最終的に各ブロックに集められたゴミは姥ヶ山会館にまとめられ区役所に依頼しておいたゴミ収集車に翌日回収してもらいました。

今回も自転車等の大型ゴミがあり、クリーン作戦の日が近づく、それに合わせた様に諏訪神社周辺に不法投棄されるものがある様です。

注視していきたいと思えます。近年ゴミの量が少なくなっているという嬉しい話も聞け、長年継続されてきたクリーン作戦の効果が確実にできていると思えます。

来年度も五月に第一回のクリーン作戦を実施する予定です。

本年度同様、多くの方々より参加して頂けます様宜しくお願い致します。



窓



参議院選の最中、元総理が銃撃され亡くなり国内外に衝撃が走った。まだこの国でこんな事件が起こると思ったのは私だけではない。テロや暴力は決して許されるものではないが、この事件が起きなければ議員と旧統一教会との関係は世に露わにならなかった。国家国民のためなどと声高に発するタカ派の議員に多いとは聞いた口が塞がらない。国民を騙した金を韓国の教会本部に送金し、白亜の御殿建設や教祖一族の贅沢三昧の生活を日本の信者からの献金で賄っていたとは？

己が当選し続けるために教会の後ろ盾になり、海外に籍を置く組織が地方議会どころか国政にまで影響を及ぼしていたとは議員として日本人としての資質やポリシーも無いのか。恥を知れ！……

黄金の三年と呼ばれ国政選挙は暫く無いが、この春の統一地方選から我々有権者である国民が候補者をつかり選別しなくては！……

救済新法が成立し、特に信者二世達が親からの呪縛やマインドコントロールから解放され普通の生活ができるようになることを切に祈りたい！……

地元を目を向けると市長選が実施され、一期目を無難に船出した中原氏が再選された。当初から本人や選対本部も勝敗よりも投票率を気にしていたようだが、相変わらず三分の二以上の市民が投票所へ足さえ運ばない。信任投票は有権者の二十三パーセントであり、六十八パーセントの市民の信任不信任は不明である。決して二期目も信任されたなどと驕り高ぶらず、市民目線の市政運営に努めて頂きたい！……(O・S・M)

令和四年度後期の姥ヶ山会報をお届けします。

令和四年はいろいろな意味で激動の年でした。前年からのコロナウイルスの脅威が収まらない中、北京オリンピックでの新潟県勢の大活躍、そんな嬉しい事がありました。半面、ロシアのウクライナ軍事進攻、七月には安倍晋三氏の銃撃事件、若輩の私などは経験したことのない悲劇的な出来事が世界に溢れ、悲しい思いをしました。

コロナ禍の終息が見えない中、我が自治会の活動も制約があり、不完全燃焼で終わってしまう。しかし、そんなさ中でも、会報によせてくださった文章、寄せ植えの会、さいの神、また各ブロックの独自の行事、思うように行かない中、役員の方々が中心になって、精一杯町内会を盛り上げるべく頑張っておられる様子が伺えます。

去年の十二月のサッカーワールドカップ、ドイツ戦を制した後、日本代表長友選手がインタビューに答えていました。私達はネガティブなイメージをポジティブに替える技術を持っている。まさに近年、誰にとってもその技術が必要なのではないでしょうか。



編集後記